

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【桜木中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
知識・技能	R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・数学の「知識・技能」において1pt向上させる。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目で肯定的な回答の割合を90%以上にする。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査において、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	調査結果分析(2月) ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

② 小6・中3 > (4月) 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)
夏季職員研修等

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
知識・技能	⇒
思考・判断・表現	⇒
主体的に学習に取り組む態度	⇒

(学校番号 223) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【桜木中学校】

① 4月28日 目標・策	
知識・技能	令和4年度さいたま市学習状況調査において、「知識・技能」の平均正答率を、国語は8割以上、数学は7割以上とする。
思考・判断・表現	令和4年度さいたま市学習状況調査において、「思考・判断・表現」の平均正答率を、国語は4割以上、数学は7割以上とする。
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度さいたま市学習状況調査において、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目で肯定的な回答の割合を77%以上にする。

③ 9月1日 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
知識・技能	全国学力・学習状況調査では、国語と数学のいずれも「知識・技能」において、全国平均を4pt以上上回った。方策を追加し、引き続き目標達成を目指す。
思考・判断・表現	全国学力・学習状況調査では、国語と数学のいずれも「思考・判断・表現」において、全国平均を5pt以上上回った。方策を追加し、引き続き目標達成を目指す。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を8割以上にする。

② 8月31日 全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>・国語、数学、理科のいずれにおいても、平均正答率は全国平均を5pt以上上回った。</p> <p>・国語では、「言語の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」がいずれも全国平均を5pt以上上回ったものの、「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」がいずれも全国平均を5pt以下下回った。</p> <p>・数学では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべてにおいて、いずれも全国平均を5pt以上上回った。</p> <p>・理科では、「エネルギー」「輪軸」「生命」「地球」のすべてにおいて、いずれも全国平均を上回った。</p> <p>・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は90%を超えた。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は88%であり、いずれも全国平均を大きく上回った。</p>	

④ 2月17日 さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	国語の「我が国の言語文化に関する事項」、数学の「図形」の分野の平均正答率が市平均を大きく上回った。一方、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の分野の平均正答率が市平均を下回り、課題が見られた。各教科と全国平均を比較して高くなっている。自分の考えをもたせ、学習の足跡を残す指導を積み重ねていく必要がある。
中2	国語の「話すこと・聞くこと」の分野の平均正答率が市平均を大きく上回った。一方、数学の「図形」「関数」「データの活用」の分野の平均正答率が市平均を下回り、課題が見られた。定期テストでは概ねできていた内容でも正答率が低いものがあった。系統的につながりのある内容について、繰り返し学習させるなどしてさらなる定着を図っていく必要がある。
中3	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は88%であった。「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は87%であった。主体的に学習に取り組む姿勢が見られるようになったと考えられる。

⑤ 2月17日 成果指標に対する達成状況		評価(※)
知識・技能	令和4年度さいたま市学習状況調査の「知識・技能」において、国語は、市平均を上回ったものの、数学は市平均を上回ることができなかった。また、国語・数学ともに、平均正答率目標は達成できなかった。	C
思考・判断・表現	令和4年度さいたま市学習状況調査の「思考・判断・表現」において、国語は、市平均を上回ったものの、数学は市平均を上回ることができなかった。また、国語・数学ともに、平均正答率の目標は達成できなかった。	C
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度さいたま市学習状況調査の結果、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目における肯定的な回答の割合は85%であった。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目における肯定的な回答の割合は83%であった。	A

⑥ 3月9日 次年度への課題と改善策	
知識・技能	基礎的・基本的な知識・技能のさらなる定着を図るため、反復練習や小テストを定期的の実施していく。また、基礎・基本の定着には個人差が大きいため、個に応じた必要な支援を講じていく。生徒同士が互いの考えを話し合う学習を全学年で重点的に取り組み、意味の理解を深める学習活動を充実させていきたい。
思考・判断・表現	模範となる部分を引用して自分の考えを述べたり、表やグラフ、資料の特徴や傾向を捉えて、言葉や数を用いて表現する活動に重点的に取り組んでいく。学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が94%であった。次年度は、主体的に対話の深い学びのさらなる実現に向けて授業改善に取り組んでいく。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を80%以上を維持する。次年度は、「自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の肯定的な回答の割合を60%から65%以上を向上させるよう、学校で学んだことを家庭学習にもつなげる手立てを講じていきたい。

※評価
A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)